

科目名	担当教員	学期	単位
政治思想史演習A	佐藤 正志	前期	2

講義概要

カント以前の道徳哲学としての近代自然法思想という観点から捉えられる近代初期の政治思想、またカントの「啓蒙とは何か」がおかれるべき多様な啓蒙の文脈、さらにアレントーカント的实践哲学を背景とする現代リベラリズム批判と公共性の復興、そうした政治思想研究の現在を批判的に考察するために、カントの政治哲学の現代的遺産について一緒に考えたい。

演習では、テキストの分担報告を基本に、テーマに関連した研究文献を適宜参照しながら議論を深める。その他に、学期中に2回程度、各自の研究課題について報告・議論する時間を設ける。論文の作成やプレゼンテーションについての指導も行う。

シラバス

- [第1回] 演習の課題と文献
- [第2回] 分担報告と討論
- [第3回] 分担報告と討論
- [第4回] 分担報告と討論
- [第5回] 分担報告と討論
- [第6回] 分担報告と討論
- [第7回] 分担報告と討論
- [第8回] 分担報告と討論
- [第9回] 分担報告と討論
- [第10回] 分担報告と討論
- [第11回] 分担報告と討論
- [第12回] 分担報告と討論
- [第13回] 分担報告と討論
- [第14回] 分担報告と討論
- [第15回] 分担報告と討論

教科書

英語のテキストは以下を使用する。

Beiner, Ronald, and William James Booth. Kant & Political Philosophy : The Contemporary Legacy. New Haven: Yale University Press, 1993.

その他のテキストは演習のなかで指定する。

参考文献

授業の中で適宜紹介する。なお、オンライン・データベースや学術論文作成支援ソフトを利用した、文献の検索や利用についての指導も行う。

評価方法

出席、演習課題への貢献、各自の研究報告、レポートによって評価する。

関連URL

<http://www.f.waseda.jp/ssato/>

備考

ジャーナリズムコースと合併で行い、それぞれのコースでの授業の位置づけに配慮する。